

●一般演題Ⅱ 「疼痛・男性更年期障害 他」

座長：長野赤十字病院 泌尿器科 天野 俊康

7. 柴苓湯が有効であった 男子外陰部硬化性脂肪肉芽腫の3例

荻窪病院 泌尿器科¹⁾

東京歯科大学市川総合病院 泌尿器科²⁾

斉藤ひょう器科クリニック³⁾

○大橋 正和¹⁾、森田 伸也¹⁾、花輪 靖雅²⁾、斉藤 賢一³⁾

【症例1】39歳、男性。主訴：外陰部のしこり。陰茎根部周囲の辺縁明瞭な弾性硬（消しゴム様）の無痛性皮下硬結を触知。末梢血ではWBC数は異常ないが、好酸球が7.0%と高値を呈した。血液生化学、尿検に異常なし。CT, MRIでは陰茎根部の皮下脂肪織の線維化あり。IVP, UGでは尿路に異常を認めず。腰椎麻酔下に硬結の生検を施行。間質に好酸球浸潤を伴い、壊死性変化と巨細胞・類上皮細胞から成る肉芽腫の形成を認め、外陰部硬化性脂肪肉芽腫と診断。柴苓湯を処方したところ、1ヶ月後に硬結は完全に消失した。その時点でも好酸球は8.4%と高値のままであった。

【症例2】29歳、男性。主訴：陰茎根部のしこり。陰茎根部腹側正中に辺縁明瞭な弾性硬の無痛性皮下硬結を触知。硬結と尿道は連続性なし。末梢血ではWBC数は異常ないが、好酸球が6.6%と高値を呈した。血液生化学、尿検に異常を認めず。CT, MRIでは陰茎根部の皮下脂肪織の線維化あり。外陰部硬化性脂肪肉芽腫の診断で、柴苓湯を処方したところ、1ヶ月後に硬結は完全に消失した。その時点でも好酸球は24.5%と高値のままであった。

【症例3】36歳、男性。主訴：陰茎根部のしこり。陰茎根部の腹側にY字型の辺縁明瞭な弾性硬の無痛性皮下硬結を触知。硬結と尿道・精索は連続性なし。末梢血ではWBC数は異常ないが、好酸球が7.0%と高値を呈した。血液生化学、尿検に異常を認めず。MRIでは陰茎根部の皮下脂肪織の線維化あり。外陰部硬化性脂肪肉芽腫の診断で、柴苓湯を処方したところ、1ヶ月後に硬結は完全に消失した。その時点でも好酸球は8.4%と高値のままであった。

自験例の3症例全例で末梢血の好酸球分画が増多していたことより、本症にはなんらかのアレルギーが関与していると考え、抗炎症・抗アレルギー作用を有する柴苓湯を投与したところ、3症例とも1ヶ月後に硬結は完全に消失した。3症例とも硬結消失時も好酸球増多は続いており、今後とも注意深く観察してゆく必要がある。

8. 男性ホルモン補充療法後に発現した 男性更年期症状に対する 補中益気湯の効果

木村クリニック泌尿器科

木村 正一

男性更年期障害（加齢男性性機能低下症候群、LOH症候群）に対する治療の第一選択肢はテストステロンの補充療法である。テストステロンは受容体組織で一部ジヒドロテストステロン→3 α -アンドロスタンジオールに変換され、これはGABAを介してドーパミン作動細胞に働く。ドーパミンは脳内にある3種類の神経伝達物質の一つで、アンドロゲンの効果を増幅する作用を持っている。

男性更年期の症状は2～3ヶ月間のアンドロゲン補充で安定化する症例が最も多かった。しかしテストステロン受容体組織の反応性を無視することはできない。そこで数種類の漢方製剤に注目して試用し、臨床的にある程度の有効性を確認しているが、それらを証明することは難しい。今回は比較的基礎的のデータが揃っている補中益気湯について報告する。

組織レベルでの補中益気湯の効果を推測するデータとしては、

①乏精子症例に補中益気湯を16週間投与するとテストステロン値の変動はないが、運動精子数は増加する。副性器の機能に影響を及ぼしたと考えられる。

②ラットに抗がん剤を投与すると精巣内の精細胞は劇的に減少するが、補中益気湯エキスを強制的に投与したラットでは精細胞の減少は比較的抑えられる。

高プロラクチン（様）血漿に対しては適量のプロモクリプチンで対応する。典型的な症例も呈示する。